

心臓
センター

循環器
内科

国内最高水準の 総合循環器内科

当科では、国内最高水準の循環器内科医療を総合的に提供しております。新病院では集中治療室も16床 配置しており、さらなる高度医療の提供及び救急医療体制の充実を図ります。狭心症、不整脈アブレーション、大動脈ステントグラフトなどの治療については、専門医が最高の技術をもって対応しております。また、国内外で多くの学会発表、論文発表などを行っており、日本語・英語の論文は200本以上出しています。新薬の海外同時治験も多く行っています。

県立尼崎病院 循環器内科科長

佐藤 幸人

京都大学臨床教授・日本内科学会指導医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心不全学会評議員(心不全予防委員)
日本心臓病学会評議員(学会誌副編集長)
日本循環器学会急性心不全治療ガイドライン委員
日本循環器学会心臓移植適応検討小委員会委員
兵庫県看護協会 慢性心不全認定看護師教育課程講師



県立塚口病院 循環器内科科長

北 祥男

日本内科学会認定総合内科専門医、
指導医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心臓病学会特別正会員(FJCC)
日本内科学会評議員
大阪医科大学臨床教授



県立尼崎病院
県立塚口病院 副院長

鷹津 良樹

京都大学医学博士
京都大学臨床教授
徳島大学臨床教授
日本内科学会認定総合内科認定医、指導医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会指導医



後列左から：後藤医師、北医師
前列：鷹津医師



三列目左から：山本医師、宮崎医師、中山医師、宮田医師、小林医師、佐賀医師
二列目左から：辻医師、堀田医師、柴医師、稲住医師、四宮医師、井村医師
蔵垣内医師
一列目左から：福原医師、谷口医師、宮本医師、佐藤医師、鷹津医師
当麻医師、古谷医師

循環器内科の紹介

心血管病変の早期診断

低被曝冠動脈CT、心エコー、心臓核医学検査などを用います。

救急、集中治療

救急は24時間受けており、低体温療法、大動脈内バルーンポンピング、経皮的心肺補助装置などの高度医療を行います。

カテーテル治療

薬剤で対応不可能な狭心症、閉塞性下肢動脈硬化症、大動脈瘤、不整脈に行います。術者は学会専門医、指導医です。

予後改善への取り組み

心臓リハビリテーション、多職種チーム医療を行っています。

対象とする疾患

狭心症

薬剤投与とともに高度なカテーテル治療を行います。

閉塞性下肢動脈硬化症

薬剤で対応不可能な場合、カテーテル治療を行います。

胸腹部大動脈瘤、大動脈解離

外科手術の適応でない場合、カテーテルによるステントグラフトを行います。高度な技術を用いています。

不整脈

心室性不整脈、上室性頻拍、心房細動などで薬剤抵抗性の場合、カテーテルアブレーションを行います。高度治療も行っています。

心不全

薬剤治療と並行して心臓リハビリテーション、多職種介入を行います。